

# 新学長に 間く 15

## DS、理系寄りから発展

大阪成蹊大学は2023年4月に、西日本に話を聞いた。

の私学として初めてデータサイエンス学部を開設した。データサイエンス(DS)に関する学部の新設や設置構

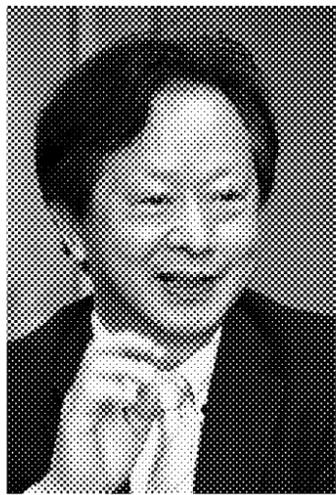
想は時代の潮流になっ大学で教鞭をとってき

ているが、同大はこれた。各大学で仕組みが

つつながる学部などを異なるためそれに合わ

持たないところからのスタートとなった。ここの経験により各大学のマイナスとも取れる特有の制度への関心が

大阪成蹊大学 学長  
中村佳正氏



を渡り歩いたことで得た大学制度の知識を結集し、大学の運営に生かしていく」

「データサイエンス学部」の1期生は大阪だ

けでなく、九州など西日本全域から学生が集

まってきた。開設に至った。病院な

どが周辺にあるため実習に行くにも負担にな

らないほか、周囲の施

設を活用したファイルアップのため、あえて理系寄りに内容や教授陣を構成した。私学とい

う性格から、地域などイェンス学部との違いの要件に制限されるこ

となく自由に構成できは。近年増加している。またDSに関する

データサイエンス学講義は、全学部の学生は、社会科学系や経済が受講できるように

・経営系の学びの発展た」形が中心となつてい

「データサイエンス学部」の今後の取り組み

なかわら・よしまさ 83年(昭58)京大

院工学研究科博士後期課程修了。86年岐阜

大助教授。94年同志社大教授。96年阪大教

授。01年京大教授。21年大阪成蹊大副学長

・教授、データサイエンス学部設置準備室

長。愛知県出身、67歳。

は。研究者養成に向け

「8月に滋賀大学、て、大学院の開設も視

兵庫県立大学と共同で野に入れていく。学生

シンポジウムを開催すだけでなく、社会人の

を有しており、共通点と期待している。大阪

のある両大学に開催をという地の利があり、

提案した。これから関需要は見込めるのでは

係性を深めていきたくないか」

### データサイエンスに特徴加味

データサイエンスは発展途上の学問であり、学部を設置した大学にとつて手探りの日々が続く。ただ正解がないため開拓の余地はあり、個性も出しやすい。都心に近く、少人数教育が売りという同大の特徴が加味されることで、データサイエンス学にどのような変化が起きるか注目したい。

(大阪・石宮由紀子)

### 記者の目